



かけはし

発行：峡南教育事務所
地域教育支援スタッフ

第172号
2021年2・3月号

南巨摩郡富士川町畷沢771-2
TEL:0556-22-8154
FAX:0556-22-8144

HPでも御覧になれます。
<http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-mk/index.html>



目次: ページ

地推協・教育事務所 今年度の報告・お礼と 来年度に向けて	1
身延・南部地域連携型 中高一貫教育 キャリアセミナー開催	1 2
身延高校 第8回 総合学科発表会	2
まるで大きな公園！万沢 小跡地 ひいらぎの会 望月節子さん	2
思春期体験学習 峡南地域中学校・ 増穂商業高校	3
畷沢警察署 バイクカーに書道!?	4
峡南建設事務所より 小中高にお知らせ	4



一年間ご愛読ありがとうございました。取材を通じて様々な皆さんの地域に対する思いを感じました。それを伝え、地域教育に貢献できるように、来年度も情報を発信していきます。

引き続き取材や情報提供のご協力よろしくお願ひします。

峡南教育事務所 地域教育
支援スタッフ 小林・水上

今年度の計画と実施状況

地推協で四回の講演会を計画して行いました。七月の「人権講演会」は、例年総会の後に行われていたが、総会が紙上会議になったことを受け、中止しました。八月には、こころの発達総合支援センター所長の田中哲先生に「教育フォーラム」、十一月には、日本アンガーマネジメント協会フアシリテータ―広瀬竜太先生に「子育て学習会」の講演をしていただきました。一月の「異校種連携セミナー」は、感染症の状況を考え、中止せざるを得ませんでした。多くの方が講演を楽しみにしてくださいましたので大変残念です。講師の久里浜医療センター

院長樋口進先生は富士川町出身ですので、今後状況が落ち着いたところで改めてお願ひする予定です。

今年度もご協力 ありがとうございました

峡南地域教育推進連絡協議会(地推協)
峡南教育事務所

来年度に向けて

二月十九日(金)に南巨摩合同庁舎で地推協第二回理事会を行いました。第一回が書面開催だったため、今年度初めての対面となりました。江本たまき会長の議事進行で、今年度の事業報告や来年度の事業計画などを話し合いました。感染症がどうなるのか見通しが立たない中ですが、それぞれができることを頑張ろうということを確認しました。

身延・南部地域連携型中高一貫教育 キャリアセミナー開催

身延・南部両中学校と身延高校は中高一貫教育として、十二月十六日(水)にキャリアセミナーを開催しました。高校一年生が二つの中学校に向いて、二年生に職業について発表しました。南部中学校の様子を紹介します。

体育館でセミナー開始

開会式で、南部中学校、望月和彦校長が「発表者となりました南部中出身者の成長を感じています。最近では伝えることの大切さが必要です」と話しました。そして、生徒代表挨拶後発表が始まりました。年次学年代表の九班がそれぞれの場所に模造紙を貼り、中学生在が移動し三つの発表を聞くという形式です。高校生は一人三人の班で、夏休みに興味のある職場を訪問し、インタビューしてきました。



発表する
高校生↑
熱心に聞く
中学生↓



さすが年次代表！工夫あり！！ 地域の連携を実感

どの発表も例を出して言い換えたり、付箋や紙をはってクイズ形式で答えを引き出したり、中学生にわかりやすいように興味を引きつける工夫をしていました。中学生はキャリアパスポート(活動記録)に内容を書き込み、職業や高校生活について質問をしていました。閉会式では、高校生からは中学生が積極的に聞いてくれたことへの感謝、中学生からは(二面に続く)

どの発表も例を出して言い換えたり、付箋や紙をはってクイズ形式で答えを引き出したり、中学生にわかりやすいように興味を引きつける工夫をしていました。中学生はキャリアパスポート(活動記録)に内容を書き込み、職業や高校生活について質問をしていました。閉会式では、高校生からは中学生が積極的に聞いてくれたことへの感謝、中学生からは(二面に続く)

まるで大きな公園！万沢小跡地



南部町の万沢小学校は昨年度末に閉校しました。地元の望月節子さんは子供達の遊ぶ場所がなくなったのではないかと、避難場所として必要ではないかと思いい、「ひいらぎの会」を立ち上げ、仲間と校庭の草取りや整備に着手しました。毎日様子を見に行き、時には重しを付けたカートに乗り整備しています。峡南技術専門校で習得した剪定技術で自ら生垣を整え、枯れ枝を拾ったり、遊具の位置を直

ために、地域の人の協力で集まったアルミ缶(写真)を売って、望月さんは肥料を購入しています。毎月、軽トラの荷台にアルミ缶をいっぱい積んで、富士宮の業者を訪ねています。

ヒイラギモクセイ(写真)を守るために。地域の協力！
地域の人の協力で集まったアルミ缶(写真)を売って、望月さんは肥料を購入しています。毎月、軽トラの荷台にアルミ缶をいっぱい積んで、富士宮の業者を訪ねています。

ひいらぎの会



きれいに なった校庭

県内に六校あり、国語や数学したり、訪問 会名の由来、町の天然記念物ヒイラギモクセイと、作業する望月さん←



望月節子さん

「子どもは元、動まじ行事」
望月さんは、万沢小児童の登下校の見守りを十数年続けています。夏休みの終わりに広福寺で開催した親子座禅会では、警察官も参加してカレーライスを作って食べ、「一学期からもがんばろう」と子供たちを応援してきました。



「世のため、人のため、自分のため」
望月さんは「そんな風に生きてきたから健康でいられる」と感謝しています。今は、校庭の「天神堂遺跡発掘地点」(写真)からの遺跡を展示する方法がないか模索しています。万沢小を大切にしたい「子供や孫が世話になったし、運動会にはみんなでお弁当を食べた楽しい思い出がある。愛着もあるし、感謝もしている」からだそうです。そして、この活動が続いていくことを願っています。

（一面から続く）今まで知らなかつ職業を知り、今後に生かしたいという感想が出されました。最後に中学生がお礼を言っていました。
身延町・南部町では地域（企業）の協力の、中学生と高校生との交流、高の教員が互いの授業のサポートをするなど、地域全体が子どもの教育に関わっていました。



身延高校 第八回 総合学科発表会

二月六日(土)十時より身延町総合文化会館で、総合学科発表会を行いました。一階には、一年生が夢将来就きたい職業について調べた内容やかなるための方法などの展示がありました。

発表の様子

最初に、佐野隆弥校長より「本校では総合学科高校として、主体的に生きる能力を育てています。この発表会は、コミュニケーション力やプレゼンテーション力を高め、体系的に行ってきたドリムプロジェクトの成果です。新型コロナウイルスの影響で計画通りにはいきませんでした。生徒は精一杯準備してきました」という話があり、一年間の学習や発表会準備の様子を撮影した動画に続きました。一年次の発表は「夢の発見」で三つの職業(司書、看護師、僧侶)についてでした。二年次は「夢の育み」で、食品ロスと健康寿命に



発表者が右上のスクリーンに映し出されています



展示

「世のため、人のため、自分のため」
という話などをし、後輩達を鼓舞しました。生徒達の声は明るく、内容は希望に満ちていて、元気がもたらえる清々しい発表会でした。

臨場感がある資料の表紙 生徒の作品



ついて二つの班が発表しました。沖縄の現地調査はかきませんでしたが、食品ロスの量をおにぎりの個数に置き換えたり、仮説を立ててユーモアを交えたりして、聞き手を意識した発表となりました。三年次は二人の生徒が「夢の実現」を発表しました。年度始の休校期間に自身や世の中を見つめて、調理師から情報系へ進路変更を決めた足立光さんは、身延高のアピールを含まず、時系列に沿って説明し、駅員のパフォーマンスで締めくくるといってプロ講師顔負けの発表をしました。教師を目指している柿本知郁さんは、大学に提出する自己推薦書を担任の先生に百回以上も添削してもらったと

峡南地域中学校 思春期体験学習 増穂商高 子育て体験学習



↓市川南中
妊婦疑似体験：
仰向けから、起きあがる



↑南部中 生徒感想発表
特別講師：元保健師で保健師の指導もしていた
新藤京子先生

中学校での思春期体験学習
峡南地域では、平成十一年度より町や保健福祉事務所の保健師さん、助産師さんが中心になり、中学校で実施されています。目的は「生命の大切さ」と「妊娠・出産・育児」について学ぶことです。今年度は、新型コロナウイルス拡大防止のため行事の調整が難しく八校の中学校で三年生が参加しました。昨年までは実際に赤ちゃんを抱っこしたり、おむつを替えたり、お母さんの話を聞いたりしていましたが、今年度は人形での抱っこや、シミュレーターをつけての妊婦疑似体験をしました。



↑六郷中
各班の代表が前に出てきて感想を述べた後、横向きで写真を撮りました。

最初に、保健師さんや助産師さん、学校の先生から講義を受けました。人口や出生者数などの町の状況や保健師や助産師の仕事について説明を聞いたり、赤ちゃんの母親にインタビューした動画を見たりしたところもありました。内容は学校によって多少の違いはありますが、共通して学んだのは、妊娠、誕生、赤ちゃんについてとその素晴らしさ、自分やパートナーを大切にすることでした。どの学校の講師も、生徒達が幸せな人生を送れるように心を込めて話していました。



↑市川中
妊婦疑似体験：
足の爪を切る



鎌沢中
おむつ替えの練習



↑増穂中
人形ですが大切に抱っこしています

↑身延中

生徒の感想から

「生まれてきたことがすごい」
「将来子どもを大切に育てたい」
「親に感謝」など
素直な感想があり
成果が感じられました。

講義後、妊婦疑似体験で妊娠が大変だと感じるいくつかの行動を体験してみました。妊娠七八ヶ月の妊婦シミュレーターをつけ挑戦しましたが「仰向けになるだけでも大変だ」という声があがっていました。人形を使って抱っこやおむつ替えの練習をした学校もありました。



↑早川中
シミュレーターをつけるのも大変



増穂商業高校での子育て体験学習

富士川町子育て支援課と連携して、今年度で十回目となります。三年生が参加し、中学の学習から発展した親になることを意識したものとなっています。

最初に、保健師さんや助産師さんから仕事内容を教えてもらい、生徒からは出産の時間や費用についての質問がありました。その後、赤ちゃんの心音を聞くことから始まり、お母さん達の動画を見たり、子どもの成長の話を聞いたりして、「周りの人の支えがあったからこそ、今ここにいる」と生徒は意識できました。次にグループで「親になるために必要なこと」を話し合いながら書き出し全体で発表しました。愛情、お金、育児の知識、哺乳瓶やおむつなどの必需品という意見が出ました。



その後妊婦疑似体験と人形抱っこ、おむつ替え練習体験を行いました。先生から「疑似体験でも、男女ともに大切そうにお腹に手を添えますね(写真)」との感想がありました。生徒は積極的に参加していました。





パトカーに書道！？ 鵜沢警察署

警察署を身近な場所に



↑「交通安全」

今年度、鵜沢署では、ウエアラブルカメラ（小型の身に付けられるカメラ）を何人かの小学生につけてもらい、登下校の様子を撮影しました。その映像によって

大切な子どもたちを守るために

来年度で閉校となるので、その名を残そうと鵜沢署で声をかけました。パトカーだけでなく、高齢者向け移動販売四社の車にも貼ってもらっています。伸び伸びとした清々しい書が、パトカーの両側にそれぞれ貼られていますので、ぜひご覧下さい。

今年度、鵜沢署では、ウエアラブルカメラ（小型の身に付けられるカメラ）を何人かの小学生につけてもらい、登下校の様子を撮影しました。その映像によって

大切な子どもたちを守るために

来年度で閉校となるので、その名を残そうと鵜沢署で声をかけました。パトカーだけでなく、高齢者向け移動販売四社の車にも貼ってもらっています。伸び伸びとした清々しい書が、パトカーの両側にそれぞれ貼られていますので、ぜひご覧下さい。

今年度、鵜沢署では、ウエアラブルカメラ（小型の身に付けられるカメラ）を何人かの小学生につけてもらい、登下校の様子を撮影しました。その映像によって

大切な子どもたちを守るために

来年度で閉校となるので、その名を残そうと鵜沢署で声をかけました。パトカーだけでなく、高齢者向け移動販売四社の車にも貼ってもらっています。伸び伸びとした清々しい書が、パトカーの両側にそれぞれ貼られていますので、ぜひご覧下さい。

↑「地域防犯」

書道作品が貼ってあるのを知っていますか？これは令和元年八月四日、和紙の日にちなみ、鵜沢警察署で書道コンクールを実施し、交通課を始めとした署員の皆さんで選んだ管内の増穂商業・市川両高校の書道部の生徒の作品です。夏の事故防止県民運動に合わせて、交通や生活の安全を啓発するために始まりました。鵜沢署に生活安全課があるので、増穂商業高校の生徒は「地域防犯」、市川分庁舎に交通課があるので、市川高校の生徒は「交通安全」の文字を書きました。どちらの高校も



↑ミニパトにも！

子どもがどんな対応をするのか様子を見て、どうすれば子どもの安全が守られるのか対処しています。これを防犯教室で活かし、子どもが安全に暮らしていけるように取り組んでいます。



子ども目線で危険箇所を確認することができると、回収したものを今後解析し、必要があれば横断歩道を設置したり、塀を見通しの良いフェンスに変えたりすることが検討される予定です。



市川三郷・富士川は平和で安全

鵜沢署が管轄している両町では高齢者が多いので、事故や振り込め詐欺の電話について注意しなければなりません。が、全般的に事件事故が少ないそうです。鵜沢署管内の人たちは温かく、警察署とも距離が近いことが特徴です。緊急性がない場合には、110番ではなく、2110-1100番（警察署直通）にかけてき

遊び心がたくさん！住民の皆さんとより良い地域に！

一月には甲斐西八代七福神巡りに合わせて、各寺院に「安全安心」のスタンプを置いてもらい全てそろえると、景品が入っている「警察缶」をもらえるイベントを行います。九三人が参加しました。また、商工



「だじゃれ」もきいてる警察缶！ 中身は内緒☺

会の広告に交通や防犯のクイズとパトカーの塗り絵を掲載し、完成させるとくじを引けるという催しも行いました。パトカー乗車券、似顔絵捜査官に似顔絵を描いてもらえる券、粉を振って指紋を採るなどの鑑識体験券などが当たり、子ども達に好評でした。

市川三郷町と富士川町を管轄



小中高校の先生へ出張講座のお知らせ

峡南建設事務所では、令和3年度に水害や土砂災害に関する知識や備えについての出張講座を希望する学校を募集しています。



水害・土砂災害から身を守るために

- 小・中・高校、それぞれに合わせた内容、時間で行えます。学校行事や総合的な学習・探求の時間、理科の授業など日時はご相談ください。
- 避難に関するカードゲームもあります（小学生向け）。カードゲームは希望があれば配付しますので、学校独自で行うこともできます。
- 防災教育に役立ちます。



問い合わせ先：峡南建設事務所身延支所
☎：0556-62-9062 土門(どもん)さん